



“地域のことは地域で考えよう”

2015年1月28日

## おきぎん県内景況・速報 2014年12月

### — 県内景況は、拡大している —

#### ■ 個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高も前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

#### ■ 建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

#### ■ 観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■ 企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年12月分)

◎2014年12月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や衣料品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は軽乗用車需要などにより前年同月を上回りました。

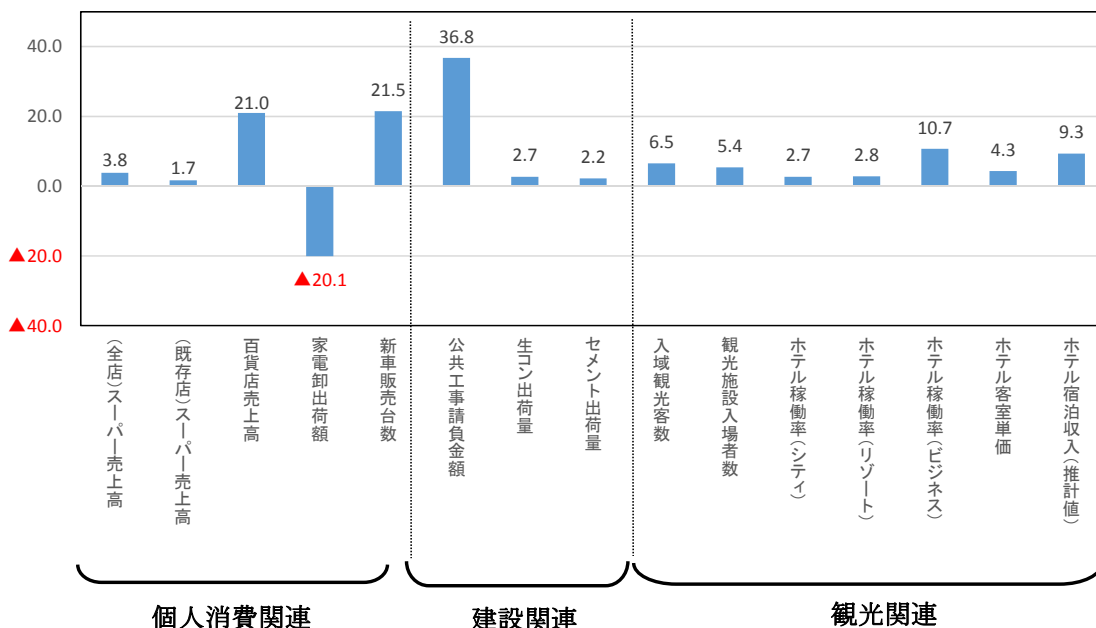
建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県工事増などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントもともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は27ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らいでおり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から11ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)

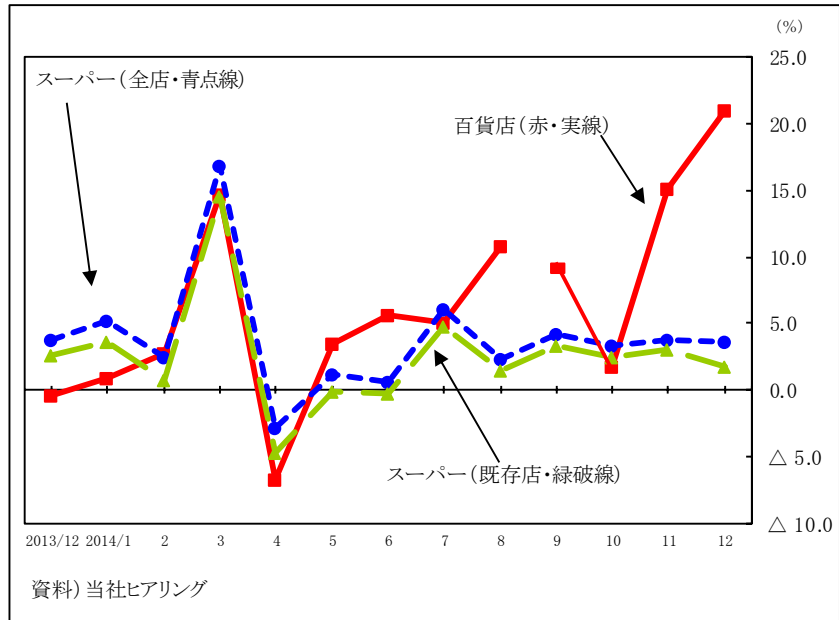




■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2013/12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	<b>8.8</b>
10	3.4	2.4	<b>1.7</b>
11	3.8	3.0	<b>15.2</b>
12	3.6	1.7	<b>21.0</b>



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

12月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比 3.6%増)」が8ヵ月連続で前年同月を上回りました。昨年に比べて日曜日が1日減ったものの、新規出店効果やウェイトの高い「食料品(同 4.6%増)」の売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 1.7%増)」では6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 2.4%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 0.7%増)」は下旬の気温高などから家庭雑貨(寝具関連)の売れ行きが低調だったものの、訪日観光客による化粧品などの売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 1.3%減)」は下旬の気温高などが影響し、冬物衣料の売れ行きが低調で前年同月を下回りました。

**百貨店売上高\***は、昨年に比べて日曜日が1日減ったものの、「食料品」や「衣料品」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同 21.0%増)。内訳をみると、「食料品(同 29.2%増)」はお歳暮のギフト需要や、生鮮(精肉・水産・青果)などの売れ行きが好調だったことから、前年同月を上回りました。同様にウェイトの高い「衣料品(同 12.2%増)」は冬物衣料のバーゲンセールやキャンペーン企画の開催などから売れ行きが好調で、「婦人服(同 12.1%増)」が前年同月を上回りました。

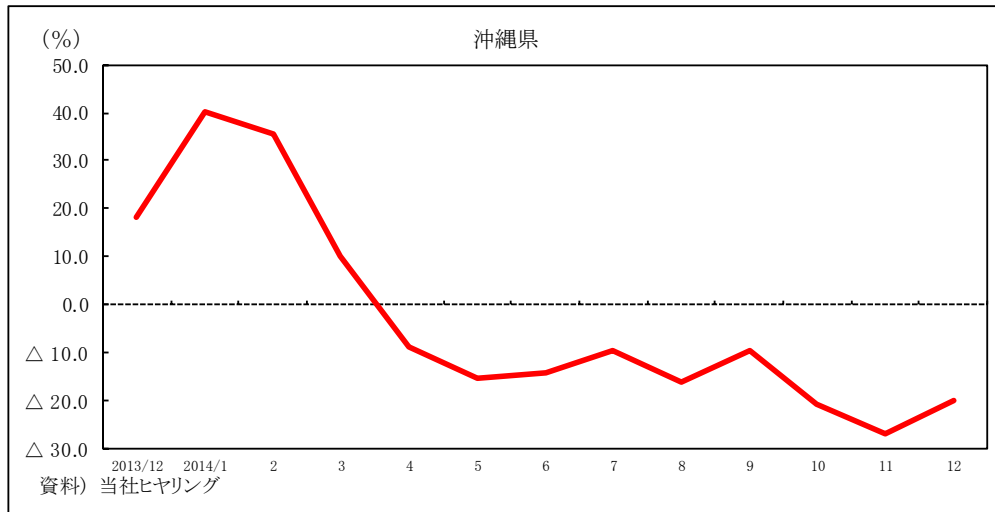
また「雑貨(同 30.4%増)」や「身の回り品(同 11.1%増)」なども、クリスマスのギフト需要のほか、訪日観光客による化粧品などの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

\*百貨店売上高については、9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位: %

	沖縄県
2013/12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7
5	△ 15.3
6	△ 14.2
7	△ 9.6
8	△ 16.1
9	△ 9.7
10	△ 20.8
11	△ 26.9
12	△ 20.1



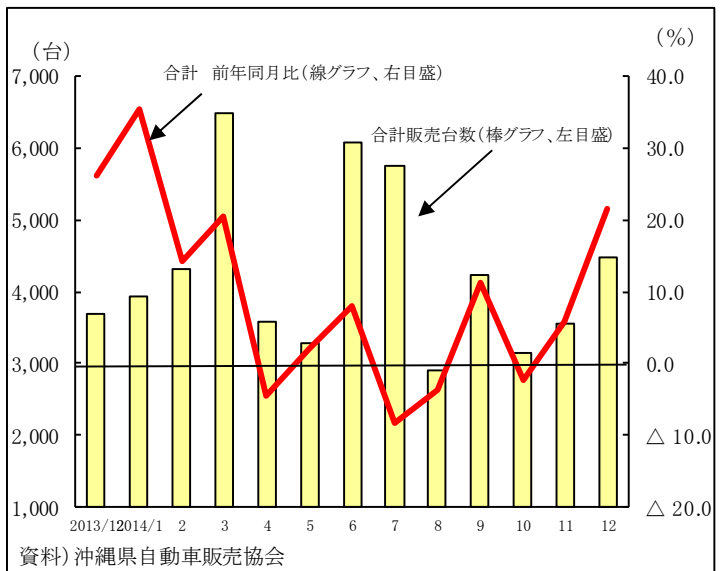
注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、年末商戦に向けた需要増加がみられたものの、継続的な太陽光パネルの売上減少により、9ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 20.1%減)。品目別で見ると、「太陽光パネル(同 84.1%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いています。「テレビ(同 12.4%減)」は4Kなどの新型モデルの売れ行きが低調で前年同月を下回ったものの、「冷蔵庫(同 3.2%増)」や「洗濯機(同 3.5%増)」は新型モデルの売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。また、「エアコン(同 9.0%増)」は新築物件向け(住宅・アパートなど)の需要増加などにより前年同月を上回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要などから、前年同月を上回る。

単位: 台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0
9	4,229	11.1	21.5	△ 3.7	8.8
10	3,152	△ 2.3	△ 6.1	△ 35.1	12.3
11	3,554	5.9	△ 29.2	△ 3.5	14.0
12	4,483	21.5	△ 17.7	△ 11.3	43.9



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 4,483 台(同 21.5%増)となり、年末商戦の販促効果などから 2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別にみると「普通乗用車(同 17.7%減)」が 3ヵ月連続、「小型乗用車(同 11.3%減)」が 6ヵ月連続で前年同月を下回りました。一方、「軽乗用車(同 43.9%増)」は新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要が好調に推移したことなどから、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

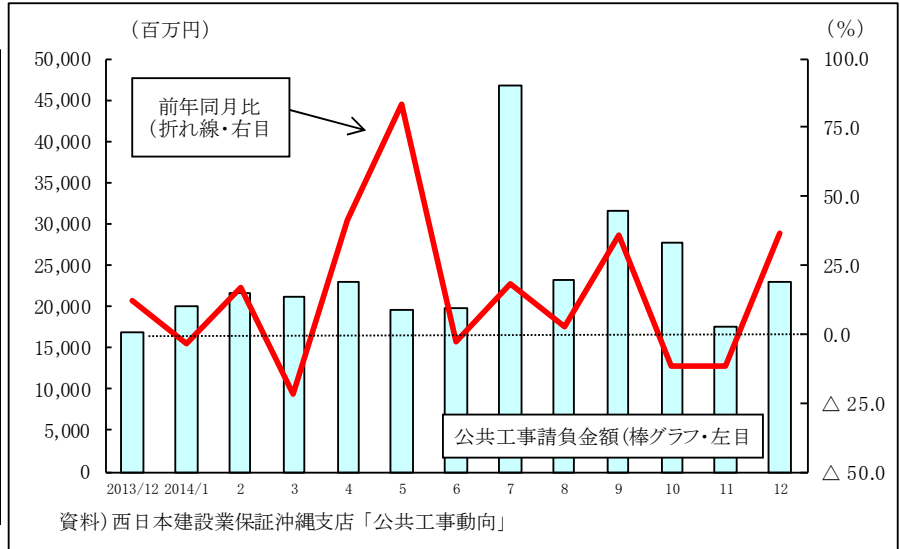


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2013/12	16,792	12.0
2014/1	20,056	△3.4
2	21,681	16.6
3	21,096	△21.6
4	22,973	41.3
5	19,683	83.2
6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8

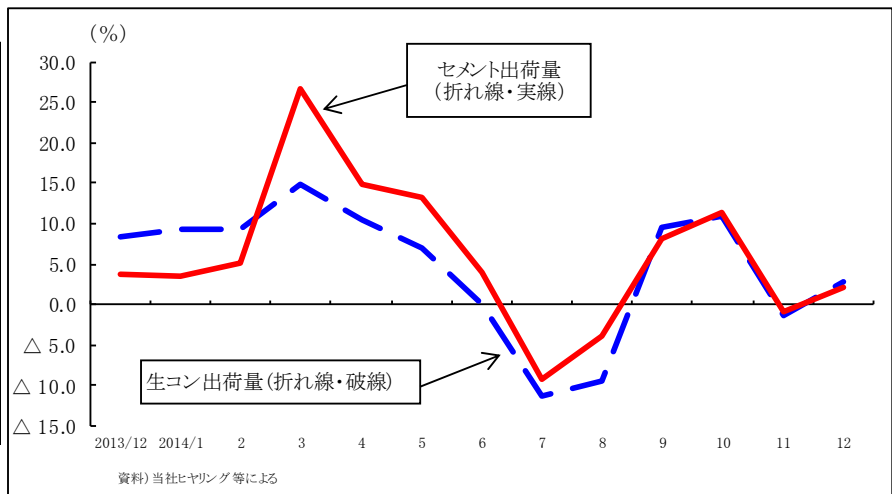


12月の公共工事請負金額は、前年同月比36.8%増の229億6,800万円となりました(3ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同75.0%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同145.4%増)」は那覇空港滑走路関連の工事、「沖縄県(同54.7%増)」は情報通信ネットワーク整備工事など、「市町村(同3.0%増)」はうるま市庁舎建設工事など、「その他の公共的な団体(同107.4%増)」は沖縄畜産振興センター新築工事などの大型工事などで前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位:前年同月比(%)

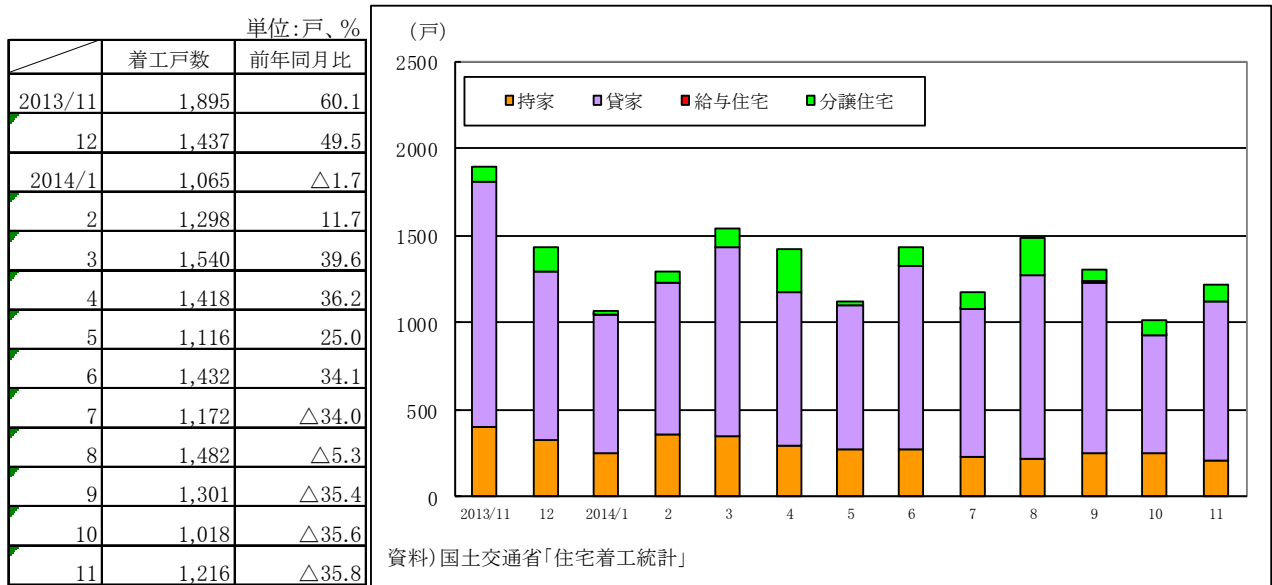
	生コン	セメント
2013/12	r 8.4	3.8
2014/1	r 9.3	3.4
2	r 9.2	5.2
3	r 15.0	26.8
4	r 10.3	14.9
5	r 7.0	13.2
6	r △0.1	3.9
7	r △11.2	△9.3
8	r △9.4	△3.9
9	r 9.6	8.2
10	10.8	11.4
11	△1.3	△1.0
12	2.7	2.2



(注1)セメント出荷量は、速報値につき、確認にて修正される場合がある  
(注2)生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は2.7%増加し、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より14.8%上回ったものの、民間工事向け出荷は3.1%下回りました。**セメント**の出荷量は2.2%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(11月)…着工戸数は前年同月を下回る。



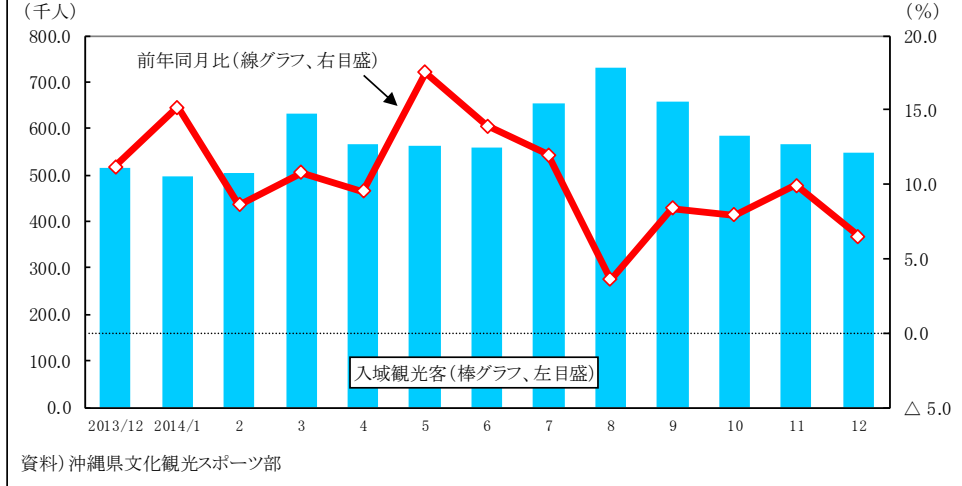
新設住宅着工戸数(11月)は、全体で前年同月比35.8%減の1,216戸と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同34.9%減)」をはじめ、「持家(同48.1%減)」も前年同月を下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…27ヵ月連続で前年同月を上回る。

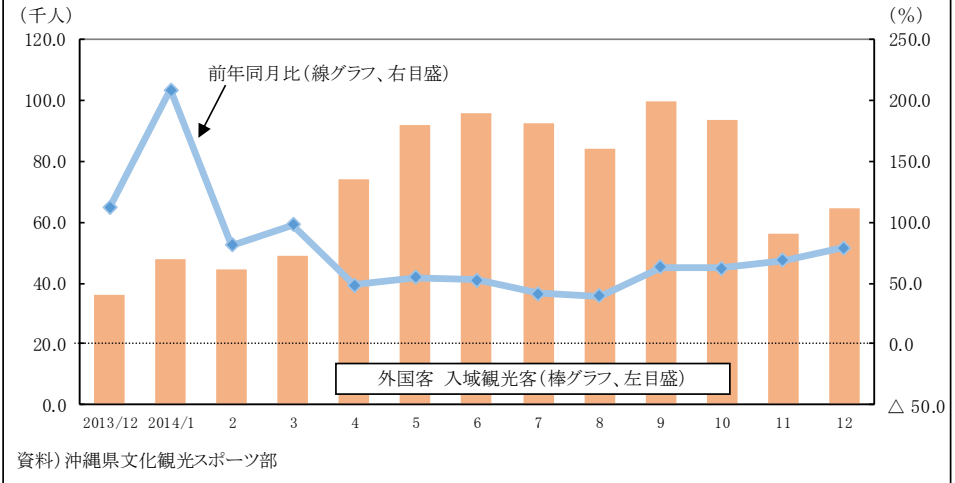
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2013/12	515.5	11.2
2014/1	495.1	15.2
2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	731.2	3.6
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…17ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2013/12	36.2	111.7
2014/1	48.1	208.3
2	44.3	80.8
3	48.7	98.0
4	73.9	48.1
5	91.7	54.4
6	95.5	52.8
7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7



※外国客は乗務員等を含む

12月の入域観光客数は、33,700人多い549,200人(前年同月比6.5%増)となり、27ヵ月連続で前年同月を上回りました。(12月としては過去最高、2014年の暦年ベースでも705万6,200人で過去最高)

内訳をみると、「国内客(同1.1%増)」は484,500人と、国内観光地との競合等による年末年始の需要の伸び悩みがみられたものの、航空路線の拡充(LCC就航、伊丹-那覇路線)効果等により上旬・中旬は好調に推移したことなどから14ヵ月連続で前年同月を上回りました。

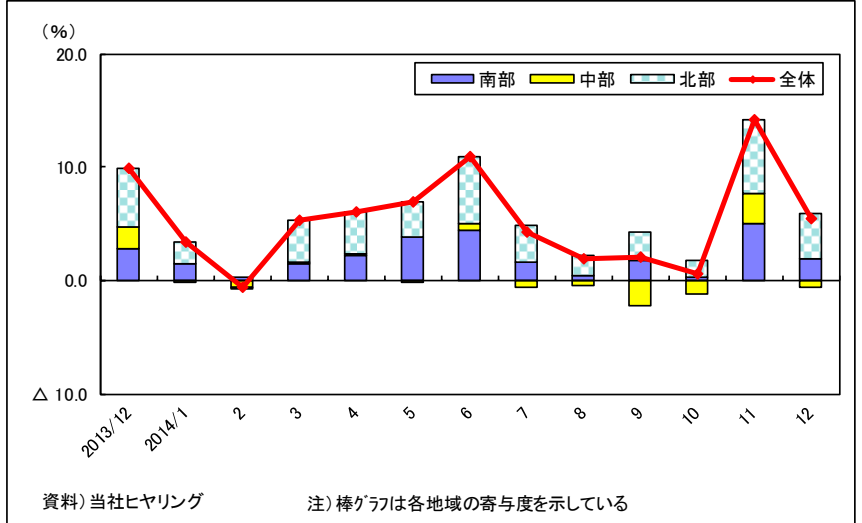
他方、「外国客(同78.7%増)」は、64,700人と17ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充等により、韓国(LCC2社が新規就航)をはじめ、各方面からの入域が好調に推移したことから、前年同月を上回りました。「台湾(同125.7%増)」「韓国(同143.9%増)」「中国本土(同17.5%増)」「香港(同57.8%増)」 ※乗務員等を除く2014年12月実績=全体548,700人(同7.0%増)、外国客64,200人(同91.6%増)、国内客は変わらない。



②観光施設入場者数…10ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/12	9.9	6.5	14.4	r 11.7
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△ 0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.3	3.7	1.2	8.0
4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△ 4.6	6.0
8	1.8	1.3	△ 3.0	3.4
9	2.0	5.1	△ 16.6	4.8
10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	r 14.2	11.7	r 20.0	14.9
12	5.4	4.7	△ 4.0	9.0



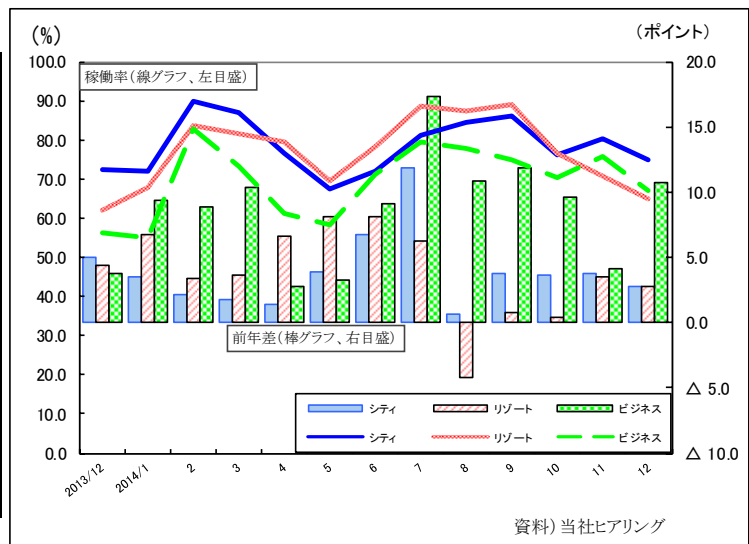
\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より5.4%増加(10ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同4.7%増と14ヵ月連続、北部は同9.0%増と10ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同4.0%減と2ヵ月ぶりに下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/12	r 72.4	62.0	56.4	r 5.0	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	r 80.4	70.6	75.7	r 3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

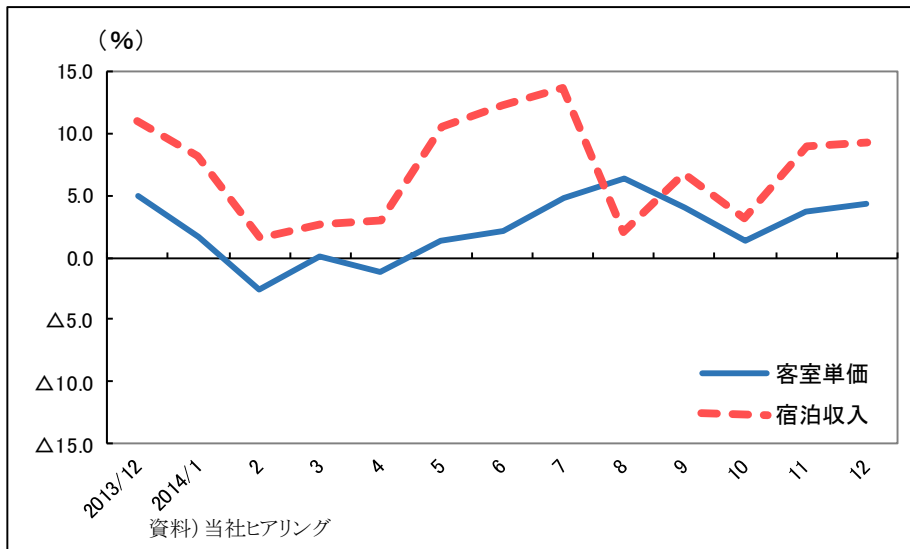
\*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが75.1%と2.7ポイント上昇(13ヵ月連続)、リゾートホテルが64.8%と2.8ポイント上昇(4ヵ月連続)、ビジネスホテルが67.1%と10.7ポイント上昇(14ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2013/12	r 5.0	r 11.0
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	4.0	6.8
10	1.4	3.2
11	3.7	r 9.0
12	4.3	9.3



※対象施設数: 29施設 (シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)が前年同月比 4.3%増と前年同月を上回ったほか、**宿泊収入**も同9.3%増と前年同月を上回りました。

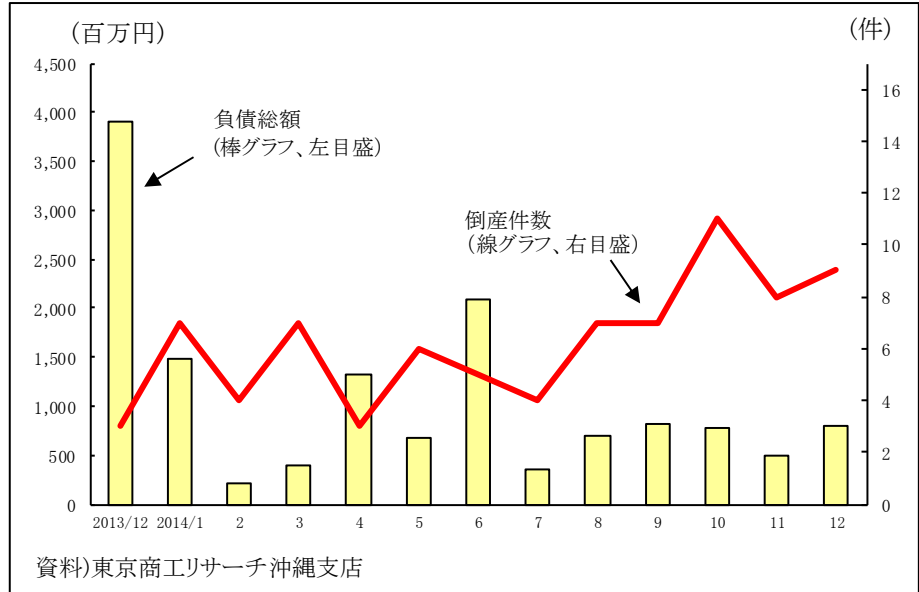


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2013/12	3,910	3
2014/1	1,492	7
2	214	4
3	386	7
4	1,314	3
5	683	6
6	2,090	5
7	361	4
8	697	7
9	808	7
10	774	11
11	487	8
12	806	9



12月の**企業倒産件数**は、9件(うち、1億円以上の大口倒産4件)発生し前年同月より200.0%増加し、負債総額も8億600万円と79.4%減少しました。

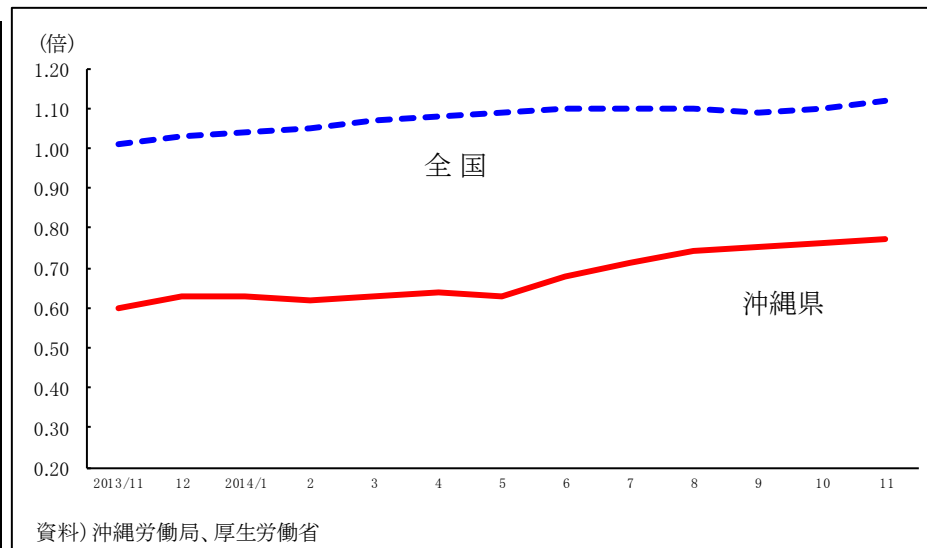


【参考】雇用関連: (やや良い)

(参考)有効求人倍率(11月)…前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2013/11	0.60	1.01
12	0.63	1.03
2014/1	0.63	1.04
2	0.62	1.05
3	0.63	1.07
4	0.64	1.08
5	0.63	1.09
6	0.68	1.10
7	0.71	1.10
8	0.74	1.10
9	0.75	1.09
10	0.76	1.10
11	0.77	1.12



注)季節調整済

注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

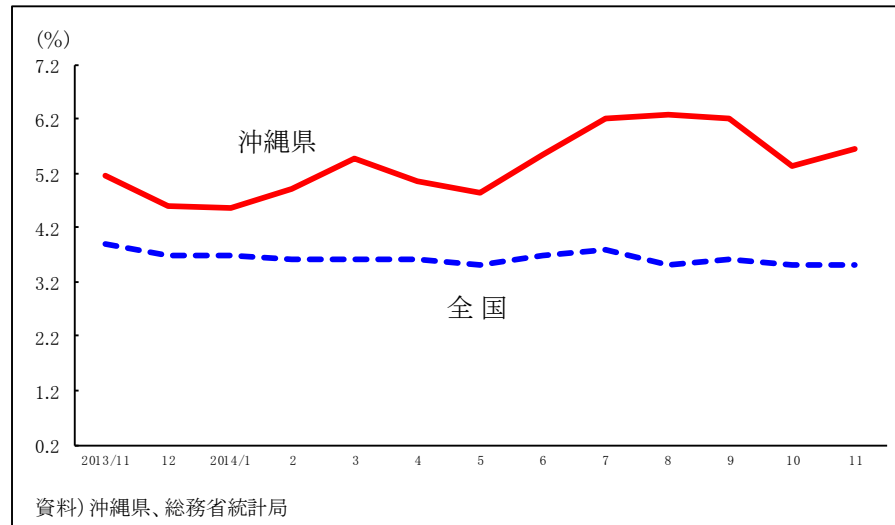
11月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.6%増の22,706人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.4%増の29,420人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.77倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(11月)…前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2013/11	5.2	3.9
12	4.6	3.7
2014/1	4.6	3.7
2	4.9	3.6
3	5.5	3.6
4	5.1	3.6
5	4.8	3.5
6	5.5	3.7
7	6.2	3.8
8	6.3	3.5
9	6.2	3.6
10	5.3	3.5
11	5.6	3.5

注) 季節調整済



11月の完全失業率(季節調整値)は、5.6%となり前月より0.3ポイント上昇しました。